

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) トウヨウダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) キクチヒロユキゼミ
東洋大学	経営学部	菊池宏之ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) ソラアシド	フリガナ) ミヤモトカホ	5	無
そらあしど	宮本佳歩		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)
無

研究テーマ (発表タイトル)
iFes~食育の認知・実施拡大~

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むには食が何よりも重要である。しかし近年、栄養の偏り、不規則な食事、肥満、生活習慣病の増加、孤食など多くの問題が生じている。それらの問題を解決するために有効であるのが食育の推進である。この食育の推進を行うにあたって私たちは幼児期の食育に注目した。そこで、幼児期の食育の認知・実施拡大を目的に iFes プロジェクトを提案する。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

食育が有効であると言われている。食育とは、健全な食生活を実施することができる人間を育てることであり、現代において生きる上で求められている。実際に食育基本法が 2005 年に施行され、政府も推進している。また、食育に取り組む企業も増えてきている。具体的には、ホームページでの発信や小学生に向けた出張授業を行っている。しかし、消費者は、食育について理解している人も少なく、食育を具体的にどのように実践していいかわからないという人が半数以上いる。

つまり、これまでの政府や企業による消費者への働きかけは効果的な手段ではないということが考えられる

3. 研究テーマの課題

私たちが行うプロジェクトを展開していく上での課題は、食育の言葉自体は知っているが実際に何を行えばいいのかわからない人が多いということである。この現状を打開するためには、従来の政府や企業の推進方法だけでは不十分である。このことから新しい推進方法を提案する必要性があると言える。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

iFes プロジェクトはおやつと Instagram を用いて栄養・可愛い・親子で作れるの 3 点を軸に展開していく。幼児期（3~5 歳）は一日に必要なエネルギーを 3 食だけでは補うことが難しいため、おやつでいかにして不足している栄養を取り入れるかが重要である。そして、おやつを与えるのは親であるため、私たちのプロジェクトのターゲットはママさんである。

近年、SNS の利用率が増加している。SNS の中でも Instagram を用いる。Instagram は写真で伝わりやすく、#ハッシュタグで検索できる利点がある。また、投稿の中でも食べ物に関する投稿を真似したいと思うという意見が多いアンケート結果があることから Instagram は食育の認知・実施拡大において有効な手段になるのではないかと考えられる。ママさんにアプローチする手段として料理の投稿をしているママさんインスタグラマーに本プロジェクトへの協力を依頼し、レシピを作成して食育を意識した投稿をすることで、多くのハッシュタグを用いるなどの工夫をすることで、多くの方に投稿を見ていただけるようにするという流れで本プロジェクトは進んでいく。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

- ① Instagram に“手作りおやつ”を投稿しているママさんと一緒に栄養×可愛い×親子で作れるおやつを作成する。日々料理を投稿しているママさんインスタグラマー 6 人に Instagram を通じてレシピ作成の協力を依頼し、うち 2 人と実際にプロジェクトを推進。
- ② Instagram でママさんインスタグラマーにおやつと食育の情報を投稿してもらい反応をもらう。
- ③ 拡散と共感を得ることで、食育の認知と実施の拡大を図る。

6. 結果や今後の取り組み

Instagram の投稿後、ママさんからの意見をいただけたりと、今回の iFes プロジェクトで食育の認知・実施拡大に向け効果が見られた。

さらに企業と協力し、さらなる食育の認知・実施拡大を目指し実際に学べる場・料理を作成する場を設ける。企業に向けた食育の新たな推進方法を提案する。

7. 参考文献

日本総研 『「食育」をきっかけに企業が変わる』 <https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=5982>

農林水産省 http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/pdf/kihonho_28.pdf

お悩み解決子育て仲間 <http://kosodatenayami.jp/2017/01/10/eatingeducationbasiclaw-easy/>
コンビタウン <https://www.combibaby.com/c/1879/>

(株) マインドシェアのサーチ・ランキングデータ

<http://www.mindshare.co.jp/research/2012/11/mama-oyatsu.html>

ログイン頻度は？ フォロワー数は？ Instagram(インスタグラム)国内ユーザーの利用状況を調査！

<https://smmlab.jp/?p=36301>

【2017 年最新】Instagram の国内ユーザー数と年齢層を徹底調査！

<https://lamp.jp/sns-marketing/2017-instagram-user-25204/>

こそだてハック <https://192abc.com/71282>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください